

実務に精通しているからこそ触れられる内容 危険な活用事例に注意を!

第1巻

家族信託の原理・メリットと 成年後見制度との比較

1. はじめに
～家族信託が注目される背景～
2. 家族信託とは
3. 成年後見制度と家族信託の比較
・使い分け
4. 家族信託を活用すべき2つの局面
5. 委託者の健康状態と信託契約締結
の可否
6. 家族信託と信託銀行の「遺言信託業務」
との違い
7. 信託税務とその留意点
 - (1) 信託税務の原則
 - (2) 信託設定時・開始後の課税問題
 - (3) 受益権の相続税評価額

第2巻

今すぐ活かせる活用事例と その実務ポイント解説

1. 空き家となる自宅を確実に売却したい
2. 認知症による資産凍結対策
3. 有効な生前分割と撤回不能信託
4. 不動産を平等に相続させたいが
共有は回避したい
5. 子なし地主の受益者連続
6. 親なき後に障害のある子の生活を
保障したい

第3巻

専門家のための家族信託超実務 と危険な活用事例

1. 商事信託をベースとする契約書の
流用への警鐘
2. 判断能力喪失を停止条件とする契約書
3. 受託者・受益者代理人による
贈与スキームへの警鐘
4. 複層型信託を活用した贈与スキーム
への警鐘
5. 家族信託のコンサルティング報酬
6. 家族信託組成後に受託者がすること
7. 家族会議を開催する意義・重要性
8. 実務を学び続けることの大切さ、
ひな型契約書の流用への警鐘

【講師】

宮田総合法務事務所
代表司法書士
一般社団法人 家族信託
普及協会 代表理事
宮田 浩志 氏



認知症高齢者や障がい者の成年後見人や後見監督人に現在 50 件前後に就任中。その豊富な経験を生かし、家族信託・遺言・成年後見制度等の仕組みを活用した高齢の不動産オーナーや会社経営者等に対する認知症対策・円満円滑な相続対策のコンサルティングでは先駆的な存在。

日本屈指の家族信託組成実績と相談件数を持ち、全国で一般向け・専門家向けのセミナー講師も多数。

完全受注生産 予約受付 締切6月20日 発送7月5日(予定)

※完全受注生産品のため、お申し込み締切後、生産、お届けしております。